

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年6月6日（月）～6月12日（日）〔平成23年第23週〕の感染症発生状況

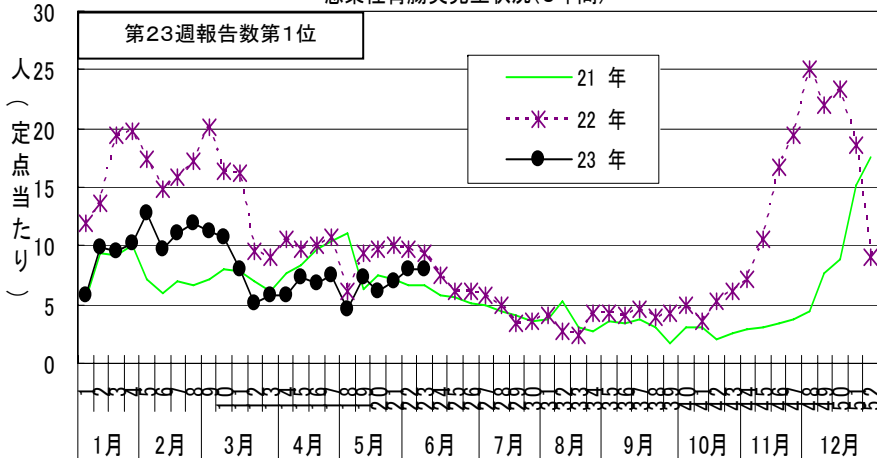
第23週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり8.06人と前週（8.03）より患者報告数はわずかに増加していますが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

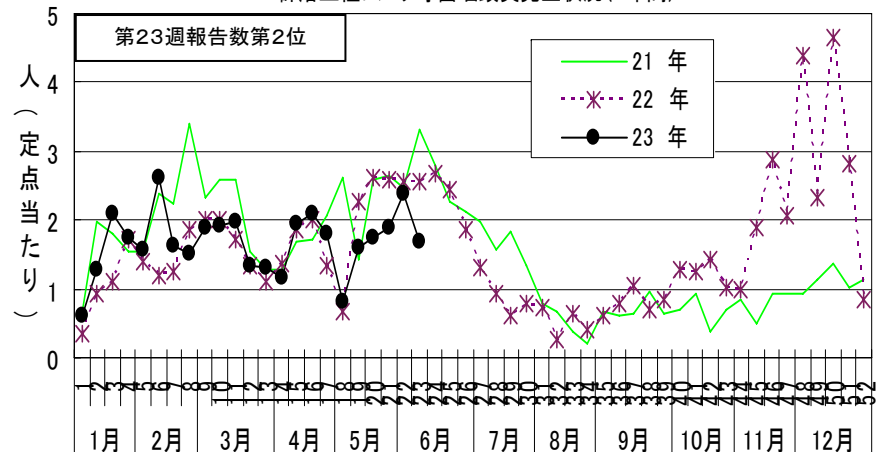
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.69人と前週（2.38）より患者報告数は減少し、過去10年間の同時期と比較すると、今年は最も少ない報告数となっています。

咽頭結膜熱は定点当たり0.63人と前週（0.28）より報告数が大きく増加しています。全国的にも4週連続で増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



流行の兆し！！～咽頭結膜熱（プール熱）に注意～

これから楽しいプールが始まる時期ですが、そんな楽しいプールでも、感染症にかかってしまう可能性があります。例年7月8月をピークに小児（特に5歳以下）を中心に咽頭結膜熱（プール熱）が流行します。現在、咽頭結膜熱の患者が増加する兆しがありますので、次のことに注意して、楽しくプールで遊びましょう。

症状は？

潜伏期間(5～7日)を経過した後、39℃前後の発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とし、その他に頭痛、食欲不振、全身倦怠感等が3～5日間程度持続します。

感染経路は？

プールでの感染には、ウイルスに汚染された水が直接目に入ることが原因と考えられています。また、プールでタオルを感染者と共用することで感染することもあります。

それ以外では患者からのくしゃみや咳などのしぶきによる飛沫感染、または手指を介した接触感染が考えられています。

気をつけたいこと！！

感染者との密接な接触を避け、流行時にはうがいや手指の消毒を心がけましょう。また、水泳時には水中眼鏡を着用し、水泳前後にシャワーを使用するとともに、タオルの共用は控えましょう。

咽頭結膜熱発生状況

